



## 2024年7月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 Link-Uグループ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4446 URL <https://link-u.group/>  
代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 松原 裕樹  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ管理統括 (氏名) 藤田 貴弘 TEL 03 (6260) 9279  
定時株主総会開催予定日 2024年10月30日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年10月30日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期の連結業績（2023年8月1日～2024年7月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	3,662	17.0	353	△18.5	375	△5.5	229	12.5
2023年7月期	3,129	37.5	434	268.7	397	359.1	204	503.5

(注) 包括利益 2024年7月期 275百万円 (33.8%) 2023年7月期 205百万円 (439.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年7月期	16.21	16.15	9.7	8.6	9.7
2023年7月期	14.44	14.35	9.4	11.4	13.9

(参考) 持分法投資損益 2024年7月期 △2百万円 2023年7月期 △41百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	4,638	2,775	53.6	175.37
2023年7月期	4,098	2,313	55.4	160.13

(参考) 自己資本 2024年7月期 2,485百万円 2023年7月期 2,269百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年7月期	115	△29	56	1,900
2023年7月期	401	△193	557	1,756

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年7月期の連結業績予想（2024年8月1日～2025年7月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,272	—	717	—	708	—	352	—	24.89

（注）2025年7月期の連結業績予想については、当社が2025年7月期より国際財務報告基準（以下「IFRS」という。）を任意適用することを決定したため、IFRSに基づき算出しております。このため、日本基準を適用していた2024年7月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 4社 （社名）株式会社Link-U Technologies・株式会社Link-U Marketing・株式会社ビューン・株式会社Romanz  
除外 — （社名）—

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年7月期	14,172,900株	2023年7月期	14,171,700株
2024年7月期	68株	2023年7月期	68株
2024年7月期	14,171,911株	2023年7月期	14,143,637株

（参考）個別業績の概要

1. 2024年7月期の個別業績（2023年8月1日～2024年7月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期	1,880	△17.7	196	△49.0	224	△42.4	△43	—
2023年7月期	2,286	25.6	385	78.1	390	93.5	263	135.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期	△3.09	—
2023年7月期	18.62	18.50

（注）1. 2024年7月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 当社は、持株会社体制への移行に伴い、2024年3月1日付で吸収分割方式による会社分割を実施したため、前事業年度と当事業年度の実績との間には大幅な変動が生じております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年7月期	2,967	2,498	84.2	176.30
2023年7月期	3,956	2,542	64.2	179.39

（参考）自己資本 2024年7月期 2,498百万円 2023年7月期 2,542百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(会計上の見積りの変更) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「あらゆる価値を解放し、ココロ震える体験を世界に。」というグループパーパスのもと、サーバープラットフォーム事業や国内・海外向けマンガサービスの開発・運営、マンガ・Webtoonのコンテンツ制作等を行っております。その中で培ったサーバーインフラ技術、データ処理技術及びコンテンツ処理技術等を強みとして、事業規模を拡大してまいりました。

当社グループの主な事業領域である情報通信産業は、総務省発行の「令和6年版情報通信白書」によると、2022年時点で名目GDP54.7兆円となっており、全産業の10.1%を占めております。

当社グループが注力する電子書籍市場につきましては、2023年度の市場規模は6,449億円と推計され、2022年度の6,026億円から426億円（7.0%）増加しております。日本の電子出版市場は2024年度以降も拡大基調で、2028年度には8,000億円程度になると予測されております（インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告2024」）。

このような経営環境の中、当社グループは、リカーリングサービス及び初期開発・保守開発サービスにおいて、既存サービスの収益力拡大及び新規サービスのリリースに注力してまいりました。この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高3,662,056千円（前年同期比117.0%）、営業利益353,677千円（前年同期比81.5%）、経常利益375,480千円（前年同期比94.5%）、親会社株主に帰属する当期純利益229,747千円（前年同期比112.5%）となりました。

なお、当社グループはインターネットサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービス別の状況は、次のとおりであります。

#### (リカーリングサービス)

「リカーリングサービス」は、レベニューシェア収益及び月額固定収益（サブスクリプション）で構成されております。

当連結会計年度においては、新たに連結子会社となった、株式会社ビューン及び株式会社Romanzにおける収益の加算及び、地震予測AIサービス「ゆれしる」やインハウスによる広告運用収益、昨年度リリースをしたサービスの月額固定収益などが順調に伸びました。この結果、リカーリングサービスの売上高は3,334,423千円（前年同期比120.1%）となりました。

#### (初期開発・保守開発サービス)

「初期開発・保守開発サービス」は、リカーリングサービス案件獲得のための受託開発を提供するサービスです。取引先の新規サービス立ち上げ時、既存サーバーからの乗り換え時に、当社グループがその後のサービス保守運用も見据えたサーバープラットフォームやアプリケーション等をワンストップで提供します。

当連結会計年度においては、海外向けマンガアプリを含む複数のサービスを開発いたしました。

この結果、初期開発・保守開発サービスの売上高は327,633千円（前年同期比92.4%）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における資産合計は4,638,134千円となり、前連結会計年度末と比較して539,236千円の増加となりました。

その主な要因は、のれんの増加323,522千円によるものであります。

#### (負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,862,543千円となり、前連結会計年度末と比較して77,405千円の増加となりました。

その主な要因は、長期借入金の増加115,960千円によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は2,775,590千円となり、前連結会計年度末と比較して461,831千円の増加となりました。

その主な要因は、非支配株主持分の増加245,572千円によるものであります。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、主に営業活動によるキャッシュ・フローが増加したことにより、前連結会計年度末と比較して144,081千円増加し、1,900,086千円（前連結会計年度末1,756,004千円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は115,306千円（前年同期は401,473千円の獲得）となりました。その主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上381,721千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は29,855千円（前年同期は193,351千円の支出）となりました。その主な要因は、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得に伴う支出192,912千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は56,130千円（前年同期は557,805千円の獲得）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入100,000千円によるものであります。

### （4）今後の見通し

当社グループは、2025年7月期第1四半期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用するため、連結業績見通しはIFRSに基づき算定しております。

2025年7月期につきましては、2022年12月14日に公表いたしました、中期経営計画（2024年7月期-2026年7月期）の中間地点となる連結会計年度となります。

当該中期経営計画を見据え、収益力向上と成長投資を並行して行ってまいります。

マンガサービスにおいては、世界中のファンが集う魅力的なサービスを創出しユーザー基盤の拡大を進めてまいります。

マーケティングサービスにおいては、引き続き好調である株式会社Romanzにおける収益モデルを展開しWebマーケティングの取扱高を拡大してまいります。

制作サービスにおきましては、オリジナルヒット作品の供給を増やしていき、他社との差別化の確立を目指してまいります。

また、連続的な変革を推進し、持続的成長を目指すため、国内にとどまらずグローバルな視点で、お互いのシナジーを最大化できる資本提携・業務提携を積極的に進めてまいります。

以上より、2025年7月期の連結業績予想といたしましては、売上収益5,272,579千円、営業利益717,061千円、税引前利益708,501千円、親会社の所有者に帰属する当期利益352,748千円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的として、2025年7月期第1四半期より、従来の日本基準に替えて、国際財務報告基準（IFRS）を任意適用することといたしました。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,756,004	1,900,086
売掛金	599,206	840,520
契約資産	200,190	1,338
未収入金	272,754	220,331
貯蔵品	622	5
前払費用	45,431	41,148
前渡金	84,768	288,608
その他	41,857	128,103
貸倒引当金	△1,686	△2,123
流動資産合計	2,999,149	3,418,018
固定資産		
有形固定資産		
建物	65,595	70,210
減価償却累計額	△19,258	△27,977
建物（純額）	46,336	42,232
建物附属設備	59,125	67,477
減価償却累計額	△17,423	△25,565
建物附属設備（純額）	41,702	41,912
工具、器具及び備品	226,482	262,066
減価償却累計額	△177,903	△209,330
工具、器具及び備品（純額）	48,578	52,735
有形固定資産合計	136,617	136,880
無形固定資産		
のれん	240,731	564,253
その他	39,335	92,268
無形固定資産合計	280,067	656,522
投資その他の資産		
投資有価証券	524,077	176,457
敷金及び保証金	107,387	138,823
繰延税金資産	46,254	104,544
その他	4,806	6,178
投資その他の資産合計	682,525	426,004
固定資産合計	1,099,210	1,219,407
繰延資産		
創立費	380	609
開業費	158	99
繰延資産合計	538	708
資産合計	4,098,898	4,638,134

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	245,117	266,881
未払費用	561,625	534,065
1年内返済予定の長期借入金	44,040	44,040
未払法人税等	117,282	116,907
賞与引当金	—	2,294
受注損失引当金	4,666	—
その他	171,745	141,735
流動負債合計	1,144,478	1,105,923
固定負債		
長期借入金	640,660	756,620
固定負債合計	640,660	756,620
負債合計	1,785,138	1,862,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,054	477,140
資本剰余金	368,957	369,042
利益剰余金	1,400,779	1,630,526
自己株式	△135	△135
株主資本合計	2,246,655	2,476,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22	44
為替換算調整勘定	22,660	8,934
その他の包括利益累計額合計	22,638	8,978
新株予約権	420	420
非支配株主持分	44,045	289,618
純資産合計	2,313,759	2,775,590
負債純資産合計	4,098,898	4,638,134

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
売上高	3,129,985	3,662,056
売上原価	1,392,930	1,552,657
売上総利益	1,737,054	2,109,398
販売費及び一般管理費		
役員報酬	63,049	88,014
給料	224,839	365,581
広告宣伝費	421,598	382,213
販売手数料	81,353	230,108
減価償却費	12,097	20,876
貸倒引当金繰入額	△1,805	△360
のれん償却額	32,385	44,690
貸倒損失	1,514	1,236
賞与引当金繰入額	48,922	42,356
その他	419,058	581,003
販売費及び一般管理費合計	1,303,014	1,755,721
営業利益	434,040	353,677
営業外収益		
受取利息	137	149
為替差益	—	3,956
業務受託料	600	1,050
還付金収入	565	—
助成金収入	19,173	30,128
その他	3,775	2,552
営業外収益合計	24,251	37,835
営業外費用		
支払利息	4,060	4,764
為替差損	1,069	—
持分法による投資損失	41,826	2,255
暗号資産評価損	13,788	8,430
その他	272	582
営業外費用合計	61,017	16,033
経常利益	397,273	375,480
特別利益		
補助金収入	5,960	—
有価証券売却益	—	75,675
段階取得に係る差益	—	57,341
特別利益合計	5,960	133,016
特別損失		
固定資産除却損	2,236	0
固定資産圧縮損	4,276	—
投資有価証券評価損	41,645	—
段階取得に係る差損	29,501	—
減損損失	—	126,775
特別損失合計	77,659	126,775
税金等調整前当期純利益	325,574	381,721
法人税、住民税及び事業税	130,737	143,970
法人税等調整額	△10,046	△51,058
法人税等合計	120,691	92,912
当期純利益	204,883	288,808
非支配株主に帰属する当期純利益	619	59,061
親会社株主に帰属する当期純利益	204,263	229,747



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
当期純利益	204,883	288,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	133
為替換算調整勘定	800	△13,726
その他の包括利益合計	777	△13,592
包括利益	205,661	275,216
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	205,041	216,087
非支配株主に係る包括利益	619	59,128

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2022年8月1日 至 2023年7月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	476,567	362,660	1,196,515	△135	2,035,607
当期変動額					
新株の発行	487	487			975
親会社株主に帰属する当期純利益			204,263		204,263
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		5,809			5,809
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	487	6,296	204,263	—	211,048
当期末残高	477,054	368,957	1,400,779	△135	2,246,655

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	—	21,860	21,860	420	72,870	2,130,758
当期変動額						
新株の発行						975
親会社株主に帰属する当期純利益						204,263
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						5,809
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△22	800	777		△28,825	△28,047
当期変動額合計	△22	800	777	—	△28,825	183,000
当期末残高	△22	22,660	22,638	420	44,045	2,313,759

当連結会計年度（自 2023年8月1日 至 2024年7月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	477,054	368,957	1,400,779	△135	2,246,655
当期変動額					
新株の発行	85	85			170
親会社株主に帰属する当期純利益			229,747		229,747
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	85	85	229,747	－	229,917
当期末残高	477,140	369,042	1,630,526	△135	2,476,573

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△22	22,660	22,638	420	44,045	2,313,759
当期変動額						
新株の発行						170
親会社株主に帰属する当期純利益						229,747
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	66	△13,726	△13,659		245,572	231,913
当期変動額合計	66	△13,726	△13,659	－	245,572	461,831
当期末残高	44	8,934	8,978	420	289,618	2,775,590

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	325,574	381,721
減価償却費	79,960	79,073
減損損失	—	126,775
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△75,675
投資有価証券評価損益 (△は益)	41,645	—
のれん償却額	32,385	44,690
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,842	△360
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,610	△2,953
受取利息	△137	△149
段階取得に係る差損益 (△は益)	29,501	△57,341
持分法による投資損益 (△は益)	41,826	2,255
暗号資産評価損益 (△は益)	13,788	8,430
支払利息	4,060	4,764
売上債権の増減額 (△は増加)	△239,705	133,831
棚卸資産の増減額 (△は増加)	69	622
前渡金の増減額 (△は増加)	△84,768	△203,840
前払費用の増減額 (△は増加)	43,415	△1,947
長期前払費用の増減額 (△は増加)	6,442	△635
未払金の増減額 (△は減少)	42,642	△113,452
未払費用の増減額 (△は減少)	177,401	△71,181
未払消費税等の増減額 (△は減少)	67,412	△99,211
その他	△90,315	47,400
小計	480,748	202,817
受取利息及び受取配当金	8	152,691
利息の支払額	△4,103	△4,397
法人税等の支払額	△75,179	△235,805
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,473	115,306
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△154,790	△2,000
投資有価証券の売却による収入	—	274,955
有形固定資産の取得による支出	△18,058	△50,648
有形固定資産の売却による収入	96	—
無形固定資産の取得による支出	△19,428	△27,081
敷金及び保証金の差入による支出	△2,020	△32,196
敷金及び保証金の回収による収入	196	28
長期前払費用の取得による支出	△6	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△192,912
貸付金の回収による収入	660	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△193,351	△29,855
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	580,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△32,970	△44,040
株式の発行による収入	10,775	170
財務活動によるキャッシュ・フロー	557,805	56,130
現金及び現金同等物に係る換算差額	757	2,500
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	766,685	144,081
現金及び現金同等物の期首残高	923,961	1,756,004
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65,357	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,756,004	1,900,086

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用範囲の変更)

## (1) 連結の範囲の重要な変更

当連結会計年度より、株式会社Link-U Technologies及び株式会社Link-U Marketingの株式を設立により取得したことにより連結の範囲に含めております。

当連結会計年度より、株式会社Romanz及び株式会社ビューンの株式を新たに取得したことにより連結の範囲に含めております。

## (2) 持分法適用の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度まで「流動資産」の「前払費用」に含めて表示しておりました「前渡金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、区分掲記しております。

その結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動資産」の「前払費用」に表示しておりました130,199千円は、「前払費用」45,431千円、「前渡金」84,768千円として組み替えております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度まで「販売費及び一般管理費」の「その他」に含めて表示しておりました「販売手数料」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、区分掲記しております。

その結果、前連結会計年度の連結損益計算書において「販売費及び一般管理費」の「その他」に表示しておりました500,412千円は、「販売手数料」81,353千円、「その他」419,058千円として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「前払費用」に含めておりました「前渡金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、区分掲記しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「前払費用の増減額」に表示していた△41,352千円は、「前払費用の増減額」43,415千円、「前渡金の増減額」△84,768千円として組み替えております。

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「段階取得に係る差損益」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より、区分掲記しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△60,814千円は、「段階取得に係る差損益」29,501千円、「その他」△90,315千円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、インターネット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり純資産額	160.13円	175.37円
1株当たり当期純利益金額	14.44円	16.21円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	14.35円	16.15円

（注）1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当連結会計年度 (2024年7月31日)
純資産の部の合計額（千円）	2,313,759	2,775,590
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	44,465	290,038
（うち新株予約権（千円））	(420)	(420)
（うち非支配株主持分（千円））	(44,045)	(289,618)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	2,269,293	2,485,552
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	14,171,632	14,172,832

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年8月1日 至 2023年7月31日)	当連結会計年度 (自 2023年8月1日 至 2024年7月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	204,263	229,747
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額（千円）	204,263	229,747
普通株式の期中平均株式数（株）	14,143,637	14,171,911
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	87,610	56,131
（うち新株予約権（株））	(87,610)	(56,131)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。